



校長室だより

第 4 4 号

令和4年1月11日(火)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

あけまして おめでとうございます

穏やかに新年を迎えられたことと思います。今年もどうぞよろしくお願いたします。
11日(木)に校内テレビ放送で、冬休み明け全校集会がありました。子供たちに話した内容です。

今回も両面になってしまいます。御容赦ください。

コロナの感染者が増えてきており、大崎市では新型コロナウイルス感染症対策レベル2に引き上げられましたので、体育館に集まることはせず、放送での集会となります。

沼部小学校のみんなが元気で、素晴らしい年になるように願いを込めて新年の挨拶をしましょう。私が先に言いますから、みんなも「おめでとうございます。」と続けてください。

「新年 明けまして おめでとうございます。」

みんなの新年にかける思いが放送室まで伝わってきました。今日、この寒い中、元気に登校してくれたこと、笑顔のみんなに会うことができてたこと、先生方は安心していきますし、とてもうれしく思います。

2022年、令和4年の干支は何でしょうか。寅年です。6年生の一部の人と、5年生の多くの友達が寅年生まれです。なんと、江戸幕府を開いた徳川家康も寅年生まれだったそうです。先生方の中にも私、吉田浩之校長先生、ほか3名の先生が寅年生まれです。沼部小学校の規模で先生方の中に4人もいるというのは珍しいことだと思います。寅は十二支の三番目です。1番目の子年に新しい命が種の中で芽生えはじめる。2番目の丑年には種の中では育つが、まだ伸び切ることができない。3番目の寅年は春が来て、根や茎が生じて成長する時期、草木が伸び始める状態だとされています。厳しい冬を超えて、新しく立ち上がることに向けて動き出す段階に入る1年になるというイメージがあるようです。コロナでまだ大変な思いをしているけれど、感染予防に努めながら、前に進もうという気持ちを強く持つ1年にしたいものです。



さて、今日から2学期の後半となります。1年の締めくりであると同時に、次の学年に向けた重要な時期でもあるのです。これまで沼部小学校の目指すみんなの姿、「ぬまっこ」を達成しようと頑張ってきました。新しい年の初めにあたり、いいクラスだったと誰もが言える学級にするために、もう一歩前進して学年の締めくりをしたいものです。

田尻地区には、渡り鳥が多く集まる蕪栗沼があります。これは何でしょう？そう大崎市のイメージキャラクターのパタ崎さんです。このパタ崎さんのモデルになっているのが、沼部小学校の上空を飛んでいるのをよく見ることができるマガンです。マガンは渡り鳥で、シベリアというところで生まれ、寒さが厳しくなる冬になると日本などに渡ってきます。マガンはローマ字のVの形になって飛びます。持久走記録会の時にもこの様子を見ることができました。このようにV字の形で飛ぶ理由についてお話しますね。

マガンが羽ばたくと羽根の後ろに上昇気流といって、上に流れるような空気の動きができるそうです。この上昇気流に乗るように、両側に一羽ずつマガンが付きまします。その二羽目のマガンは前を飛ぶマガンの羽ばたきの上昇気流を使って、少ないエネルギーで飛ぶことができるのだそうです。つまり、後ろの方を飛んでいるマガンは、前の方を飛んでいるマガンに比べて、楽に飛ぶことができるのですね。このようにして、一羽のマガンの両側に次々とマガンが続き、V字型になるのだそうです。

でも、先頭のマガンは、上昇気流がないので、大変です。長く飛ぶと疲れ切ってしまいます。疲れると先頭のマガンは後ろにつきまします。すると楽になります。代わりに一羽ずつ前へ詰めることになるので、2番目のマガンが先頭になります。これを繰り返して、マガンの群れは遠くまで飛んでいくことができます。ですから、先頭のマガンはリーダーというわけではないのです。先頭は順番に代わっていくのです。

また、一羽のマガンが疲れて群れから遅れてしまうと、二羽のマガンが飛んで行って前を飛び、助けるのだそうです。

自分勝手にみんながばらばらに進んでいては疲れてしまう。このことは人間も同じです。学校もクラスもみんなで助け合って進むのです。時には先頭に立ちまします。先頭を他の人に譲ることも必要です。

温かくなってくるとマガンもシベリアへと帰っていきます。残り3か月をマガンのV字編隊のように助け合って、いいクラスだったと思えるようにしてほしいのです。短いながらも大切な3か月、一日一日を大切に過ごしてください。そして、手洗い、消毒、マスク、換気にもしっかり取り組んでいきましょう。

この3か月の授業日数は、1年生から4年生までが49日、5年生が50日、6年生が47日間となります。学年のまとめをしっかりと行い、次の学年につなげてまいりますので、本校の教育活動に御理解と御協力をお願いします。

年末には県内のコロナ感染者が一桁や0となり、落ち着いてきたかなと喜んでおりました。ここにきて、また感染者数が増えてきています。オミクロン株による感染拡大も懸念されており、感染防止対策をしっかりと行っていかなければならないと感じています。学校では、密にならない工夫、こまめな手洗いと手指の消毒、十分な換気、人が集まるところでのマスク着用など感染防止対策に努めてまいります。御家庭でも御協力をお願いします。